

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

運動会は、半日にしたことで、様々なことも生じたと思います。運動会が終わり、親子で帰る姿はいい感じです。職員室から中庭をみると、大人も子どもも混じって昼食会をやっているグループもありました。弁当を広げての昼食会です。風情があります。

閉会式でも8時から4時間頑張っていたので、何人かは集中力を欠いていました。それは、仕方がないかなと。大きなけがもなく、AEDも使用することなく、健康面からはよかったですと考えます。また、失礼ないい方ですが、フィールドの中に入り込んでしまう保護者、カメラ撮影のために人を押しのける姿、私には見受けられませんでした。(その保護者の行為がけがにつながったり、子どもが主体の運動会に水をさしたり、ということで日本でもずいぶん注意をしているのですが、なかなかうまくいきません。高雄では大丈夫です。) 陳俄安さんや吉川日本人会会長様も最後までつきあってくれました。開会式とそのあとしばらくまでは、幼稚園の園長様、交流校の校長先生方、職員の皆様、高雄市教育局長様、高雄市政府警察局外事科科长様など、日頃お世話になっている方が顔を出してくれました。(挨拶でもいいましたが、私たちの運動会の安全を守って、三民区の警察官が私服でも制服でも見回りをしてくれていました。私が確認しただけでも7人いました。)

子どもたちが大きな声で中華民国国歌を歌っていたのには正直驚きました。(私は、歌詞カードをもっていき、ちらちらと見ながら歌っていました)

職員は、昼食を終え、休憩してから、後片付けに入りました。危ないところは李用務員が中心になり、そして、細かなところは他の職員で、さらに、テーブルなどは火曜日の朝、子ども達がやってくれました。ありがとうございます。

10月25日 (火)

子どもたちは、運動会終了後、元気に登校してきました。大人はちょっと体調がもどらない人も。

10月26日 (水)

バンコク日本人学校の新潟県派遣の先生と校長からメールが入りました。バンコク日本人学校は11月14日まで休校が決定したとのこと。火曜日の時点で、その方の学級の子どもたちは3分の1日本に一時帰国だそうで、職員は、その手続きや電話連絡で学校に詰めているとのこと。住んでいる地区は今は何も被害がないとのこと。バンコクの校長先生とはよくメールで危機管理について情報交換しています。本校は、台風やバス、校内でのけが等への配慮が中心であり、テロや暴動などの対策はほとんど考えなくてすんでいます。

10月27日 (木)

インフルエンザの予防接種が行われました。今年は、ご案内のようにいわゆる新型、従来の型の両方に対応ができ、しかも、1回で済みます。(調べたところ台湾と日本は同じ型に効くような設定になっています) 4時間目に医師がきてくださいました。看護師が3人。そして、衛生局からも看護師が一人です。さらに、注射を受けた子どもには消しゴムをプレゼント。すごいのは、学校対応なのに、「なのに」、というのは、日本で集団でやっていた昔は、いきなり打たれた記憶があります) 一人一人に丁寧に問診と診察をしてくれる注射でした。感謝です。先生がおもしろいことを言っていました。前は大人も接種をしていたんだそうですが、子どもにはシャープペンシルのようなもの、大人にはキャベツだったとか。子ども達は、先生の診察があるので、静かにすわって待っていました。打たれている姿は、かなり痛がっている子どももいたり、平気そうな顔をしている子どももいたり様々でした。一様に打たれた腕をカバーして動かさないようにしていたのは、なんかかわいらしく見えました。

強い縁を感じました。栃木県の校長に電話しました。本校のある学年とちょっとした交流をしたいということです。この校長とは、この夏、偶然にバンコクの食堂で会いました。20年ぶりです。私がバンコク赴任のときに家族ごと世話になった方です。今回の電話の中で、バンコクから小三の女子が避難してきていて、体験入学をさせてもらいたいという申し込みがあったと話をしていました。

10月28日 (金)

昨日の予防接種が原因だと思われませんが、軽い副作用がでている子どもがいます。これは、予防接種の宿命のようなもので仕方ありません。少なくとも体調が悪い子どもには、昨日は接種していませんし、アレルギー(特に卵を使つての培養です)に関しては、直接子どもにも再度聞き、医師がさらに問診をしています。この種の安全は二重三重にする必要があると思っています。

10月23日は、7年前に起きた新潟県でおきた中越地震の日でした。新潟の小千谷市では慰霊祭もやったと仲間からメールがきました。子どもが崖で埋もれた車から救出された地域です。その子も小学校4年生のはずです。

次の内容は書いたり話したりしましたが、この日の夕方、地震の直後、新幹線脱線というテレビテロップを見て、息子が新幹線に乗っている時間帯なので、もう、息子はだめだと思ったものです。すぐにメールしたら、何が起きているかわからないけど、新幹線が止まっている、というメールがすぐ返ってきました。そこで、事情を説明してやりました。そのあと、なかなかメールが着かなくなってきました。このような自然災害がおきる可能性がいつでもどこでもあります。今回のバンコクの洪水のようにゆっくりなのはむしろ珍しい。ご家族でどのような連絡の取り方をすればいいか検討しておくことも大事です。高雄日本人学校は避難所になっています。